

地域森林を整備する林業事業者の方々が「事業者のぼり旗」を掲揚します

■ 目的

適正な再造林等の森林整備を推進するため、大隅地域の森林組合や林業事業者に「事業者のぼり旗」を配布し、各事業所や伐採・造林現場に掲揚することにより、森林整備への責任ある事業者としてのPRや森林所有者に対する森林整備への意識の醸成を図ります。

■ 開始時期

令和2年10月

■ のぼり旗を掲揚する事業者

大隅地域の認定林業事業者
21事業者（R2年9月末現在）

■ 森林づくりロゴマーク



森林資源の循環利用のため、伐ったら植えましょう

キーワードは
オール大隅

ロゴマークのコンセプト

大隅半島の立木本数は、大隅地域の9市町を意味する9本
鹿児島県を取り巻く英文字は、「大隅はひとつ、大隅の未来へ」
を意味する “All OOSUMI” と ”To the Future of OOSUMI”



大隅地域の認定林業事業者はこちらから確認してください。



「のぼり旗」の例



再造林の 必要性について



再造林とは、何ですか。

スギやヒノキなどの人工林を伐採した跡地に植栽を行うことです。



再造林地

なぜ、再造林が必要なのですか。

1 人工林の伐採跡地を放置すると、土砂流出防止等の機能が低下する恐れもあります。



本県の人工林資源

2 将来にわたり木材を安定的に供給することができます。



若齢林が少ない。

3 再造林することで、地球温暖化の防止など森林の持つ公益的機能の維持・増進にも貢献できます。



そーか。自分の山を管理すれば、地域のためにもなるんだね。



森林所有者ひとりひとりが責任をもって、「伐ったら植えて、きちんと育てる」ことが大事なんだよ。

